



久保田由夫 ほっと通信



NO. 76

2018. 4. 8

【部内資料】

日本共産党

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・フェイスブック・ホームページもご覧ください>



【写真】 左から、告示日（3月18日）武田良介参議院議員との街頭演説（あさつゆ前）、雪模様の中での街頭演説（3月21日）、投開票の様子を事務所で待っていると丸子テレビが取材に来たので当選を祝して。（3月25日）

～選挙で訴えたことや社会情勢に合わせて、市民の声を政治に活かします～

上田市長選挙、市議会議員選挙が終わって

昨年のお盆前に市議選の4人候補者と地域割りが決まり、さっそく選挙準備に取りかかりました。ところが、10月10日公示、22日投開票で総選挙となり、共産党は現有議席の確保と前進、参議院選挙に続いて野党共闘を前進させるために全力をあげました。結果は、野党共闘への妨害もあり政権与党が大勝する残念な結果となりました。それでも、北陸信越ブロックの比例選挙では、藤野保史さんの再選を果たすことができました。

総選挙での中断後に、市長選挙では金井忠一候補が11月末に立候補を正式表明することになり、市議選と同時の選挙戦の構図が決まりました。その後、12月議会で現職の母袋市長が次期選挙への出馬しない意向が表明され、それを受けて市長選挙には土屋陽一氏が出馬表明。1対1の選挙戦が予想されましたが、第三の候補として2月下旬に寺島義幸氏が正式表明、三つ巴の選挙戦に。結果は、小差ですが土屋陽一氏が当選しました。

金井忠一氏が訴えたことは、今後の市政に活かすために頑張りたいと思います。

市議選は、今年1月から2月にかけて引退する議員、出馬する予定候補などが決まり、3人オーバーの選挙戦になりました。

私は、選挙戦では、「市民生活に欠かせない統合クリーンセンターの早期建設」、「食育重視や地産地消の推進のためにも大規模学校給食センター計画の大幅見直し」、「子どもの貧困対策などくらし応援の市政」、「地域医療の再構築事業の継続」、「地域課題を解決し、市民協働を広げる地域内分権の推進」などを訴えました。

丸子地域の課題としては、「丸子温泉郷の老朽化した温泉施設の更新事業」「国道254号線の三つのバイパス事業」「箱畳第二期工業団地事業」「陣場台地に計画されている上田市初のワイナリー建設」「千曲川と依田川の合流地点を整備して、水辺空間を利用するかわまちづくり事業」などを取り上げました。武石地域では、「現在の武石自治センターなど周辺施設を更新する武石地域総合センター事業」など、城下地域では「事業用の大規模太陽光発電所建設への規制」などです。このように訴えたことや今後の社会情勢の変化に応じて、市民生活を守るために上田市議4期目をしっかり活動していきます。引き続きのご支援をよろしくお願いします。

<季節の写真>



【写真】左から、上田城大手門前（4月2日撮影）、我が家のモクレンと梅、小彼岸桜（4月4日撮影、梅と桜が同時に満開です）